

# 万一の災害に、リースで備える。

阪神大震災では、水道の復旧に  
90日を要したと言われています。

水は命をつなぐライフライン。

企業や組織にとって、万一の時の事業継続が大きな課題です。

四日市社会保険病院様では、災害に備えた地下水膜ろ過システムを導入。

患者さんのケアが継続できるよう、万全の体制を敷いています。

災害時には、住民の皆様の飲料水としても活用される計画で、  
地域貢献の観点からも評価を受けています。

NECリースは、地下水膜ろ過システムを製造・販売する(株)ウェルシィと業務提携し  
本システムの導入をファイナンス面からサポートしています。

「万一への備え」は、NECリースにご相談ください。



四日市社会保険病院様 2006年4月 地下水膜ろ過システム導入。